

## 岩手大学半導体アカデミー

### 第1回半導体セミナー出前講座スタート!

令和2年6月3日(水)本校電子2・3年生と電気電子科1年生を対象に第1回の岩手大学半導体セミナー「半導体を支える未来社会」と題して講話が開催されました。

講師は、岩手大学 生産技術センター 特任教授 梅木和博 先生です。

半導体が生活を変える!

一関市は北には、キオクシア、トヨタ自動車、デンソー岩手、東京エレクトロンがあり、県境には、大衡村にトヨタ自動車、大和町に東京エレクトロンがあり半導体や自動車産業の大手企業に囲まれている位置にあることが話されました。特にも岩手県は、自動車産業と半導体産業がマッチングされた企業誘致に成功しており、絶好の条件にあるそうです。6月1日付けの岩手日報では、県平均有効求人倍率1.12倍が示され、コロナ禍の影響を受けて前年度2.3%減、盛岡地域4.5%減と報じられました。しかし、この数値はサービス業等全産業を含めた平均値で、地域別に見ると北上市1.73、奥州市1.51、花巻市1.48、盛岡市1.28、一関市1.21となっています。講師の先生は、自動車産業や半導体産業を誘致している自治体は優位に立っていることを話しながら、「工業高校に入学して良かったね!」と話していました。

現在、半導体はあらゆる製品に使用されており、特にも自動車には200個以上の半導体が使われているお話もありました。

講話の後半は、就職試験を受ける前の会社選びについて、3つのアドバイスがあり、県内企業の紹介や求人内容について詳しく説明してくれました。電子科の生徒はつぶしが効くので全分野の仕事に従事できる事も話してくれました。これから第4回まで半導体セミナーは続きますが、大学院生を招いた半導体の特性実験やセンサーユニットの製作は面白そうです!

～ いま 関工がおもしろい ～



生徒の質問に、実物の半導体ウエハーを見せて説明している梅木先生

